



特定非営利活動法人 なんとなくのにお 通信

URL <http://www.nantonakuno.net/>

Mail info@nantonakuno.net

第15回 通常総会 開催

5月11日(土)午後1時より、日光市民活動支援センターを会場として、第15回通常総会を開きました。

はじめに、正会員数57名中、出席正会員42名(うち表決委任者27名)により会が成立することを確認し、議長(佐藤順さん)の議事進行により、事業報告・決算報告、事業計画・予算案、役員選任案が承認され、議事は滞りなく終了しました。議事終了後にお茶会が開かれ、会員の交流の場となりました。承認いただいた本年度事業計画の概要を以下にお知らせします。

■ 事業計画

(1) 子どもたちの自主性および自立性を尊重した居場所の提供および学びの場の運営 予算:2,542,000円

子どもの居場所 月～金曜日は12:30～16:30に開きます。利用者の意見もあり、昨年度同様、学校の長期休業中も開くことにしました。「お盆」の前後、8月10日～18日は夏休みをいただきます)

居場所活動には、カードゲーム、ボードゲームなどを取り入れ、参加者間のやり取りを重視しています。個別学習援助の充実、みんなでメニューを考える楽しい食事会なども毎月行っています。今年はジャガイモが豊作でした。次の食事会が楽しみです。

(2) 子どもたち一人ひとりに対応した、新たなカリキュラムや学習内容の開発 予算:240,000円

学びサポートひろば 毎週金曜日は19:00～21:00、市民活動支援センターを会場とし、その子に応じた学習サポートをめざして、毎週金曜日に開いています。また、ワカモノフェスタ、ボランティアフェスタへの参加など、地域行事への支援活動を行っています。



(3) インターネットなどのIT環境を活用した学びの支援および情報提供 予算:56,000円

ホームページによる活動紹介を行っています。今年度は、報徳会館で活動していた時期の記録や「サイエンスカフェ」実施記録などをページ上に掲載していきたいと計画しています。

(4) 教育や福祉についての相談、情報提供および障がいの理解および啓発に関する企画運営事業 予算:45,000円

昨年度の延べ相談数は57件でした。保護者の方が気軽に相談していただけるよう心がけています。

会報は年4回、1、4、7、10月に発行しています。今年度も、毎回250部を印刷し、会員、市内の小中学校、関連機関に配布する予定です。

(5) 学校外で育つ青少年や障がいのある人の自立に関する相談および就労を支援する活動 予算:20,000円

昨年10月にはじめて実施した「なんにおお出かけ企画(鹿沼CCVを訪問・直営レストランで昼食・通信53号)」は、居場所利用者と保護者が参加し、子どもたちの進路を考え、就労支援を知るよい機会となりました。

月1回のベリー会への参加により、関連団体との連携を取っています。

(6) 自然環境の中での学び、自然環境保全の啓発活動
自然観察、畑作り、川遊び等。環境研究班による放射能・放射線測定・啓発活動 予算:42,000円

川に入り、水棲昆虫を観察する「川むしたんけん隊」を今市の水を守る市民の会」と協力して実施しています。

(次ページに続きます)

目次

第15回通常総会(報告)	1
川むしたんけん隊(行川)	2
活動報告	3
チャイルドライン栃木・講演会など	3
こんな本はいかが・46	4

居場所のひとこま

最近のブームは「街コロ」。自分の街を育てていく対戦型ゲームです。ボードゲームの初心者にもおすすめとか。これ以外のボードゲームやカードゲームも用意しています。夏休み中の居場所も、ふだんと同じく、月～金曜日12時半から午後4時半までオープン。見学歓迎! (N)【8/10(土)～8/18(日)はお休み】



(7) 障がいの理解および啓発に関する企画運営

子育て・親育ち勉強会や茶話会の実施。 予算:70,000円
「茶話会」は毎月第2月曜日、午前10時からお昼までの日程で、平ヶ崎の「居場所」で開いています。子育ての悩みをお持ちの方、ぜひご参加ください。(右ページ下欄に案内)

(8) 第二種社会福祉事業の相談支援事業の経営

特定指定相談支援事業(さくらそう) 予算:2,885,000円
昨年度は延べ200件の計画作成・モニタリングを実施しました。今年度も6歳から80代の方まで、幅広く担当させていただきます。

相談支援事業(栗原理事の市役所出向) 予算:5,954,620円
昨年同様、市役所1階社会福祉課「日光市障がい者相談支援センター」へ栗原理事が出向しています。

以上が第3・4号議案で審議され、出席者一同の承認をいただいた今年度事業の概要です。

本年6月30日をもって役員全員が任期満了となるため、第5号議案として役員選任に関する提案を行い、出席者一同の拍手により承認いただきました。理事および監事の任期は、本年7月1日から2021年6月30日までとなります。

◆ 任期満了により退任する役員

監事 山本 佳子 (長い間お世話になりました)

◆ 新任役員

理事 丸本 香

監事 大久保 みどり

◆ 重任役員(理事)は以下のとおりです。

栗原 真佐美、白井 佐智子、手塚 郁夫、中島 直弥、西尾 敬子、村上 幸子、吉成 啓子、吉成 勇一

新任役員からのメッセージ

理事になりました丸本です。猫が好きで実家の猫に癒やされています。家庭菜園を始めて3年目。今年の夏はスイカをたくさん収穫することが我が家の目標です。なんにわでも野菜を育てています。みなさん、遊びに来てくださいね。(丸本 香)

昭和、平成、令和と三時代を生きて来ました。人間というものは欲張りでもっと欲しい、良くなりたいと思うものですが、最近「今、ここに生きている」だけで奇跡だし幸せなことだと思っています。そんな私です。(大久保 みどり)

理事の互選により、引き続き2年間、理事長をつとめることになりました。みなさまのご協力、よろしくお願ひします。(手塚)



川むしたんけん隊 @ 行川・見行地橋

《今市の水を守る市民の会》と共同開催

毎年5月末から6月に開催している「川むし」、いつもお天気が心配な時期ですが、当日は晴天で風もおだやか。まさに「川むし日和」に恵まれ、日光市明神の見行地橋(けんぎょうちばし)というはじめての場所で実施しました。

駐車スペースなどの心配はあったのですが、近くの農家の方の協力をいただき、塚崎庸子さん(今市の水を守る市民の会)の案内で、午前中いっぱい「川むしたんけん」を楽しむことができました。当日のデータをまとめます。

6月1日(土) 午前9時 気温 22.5℃、水温 17.0℃
見つけた生き物を環境省の定めた指標生物で分類しました。

水質階級Ⅰ(きれいな水)

ヒラタカゲロウ、サワガニ、オオヤマカワゲラ、ヘビトンボ

Ⅰ～Ⅱ(きれいな水)

ヒゲナガカワトビケラ、ニンギョウトビケラ、チラカゲロウ、フタオカゲロウ

水質階級Ⅱ(ややきれいな水)

カワニナ、コオニヤンマ(ヤゴ)

水質階級Ⅲ(きたない水)

水質階級Ⅳ(とてもきたない水) どちらもいませんでした

その他、見つけた生き物

ナベブタムシ、カワトンボ、サナエトンボ、コヤマトンボ、ヤンマ科(ヤゴ)、アオハダトンボ、アカハライモリ、トウキョウダルマガエル、ホトケドジョウ、アブラハヤ

参加者は、子ども12人、おとな10人でした。

今回は「身近な水環境の全国一斉調査」(国土交通省)に参加し、実施場所の水質調査をあわせて実施。COD~0mgO/Lのきれいな河川水であることを確認しました。(手塚)

写真(上):見行地橋(中):川底の石を探る子どもたち(下):採集した生き物を観察しながら分類

- 4月22日(月) 通信「なんとなくのひろば・第55号」発行
- 4月26日(金) つくって食べよう! (ミルクレープ)
- 4月28日(日) ベリー会: 講演会
- 4月28日(日) ワカモノフェスタ実行委員会
- 5月7日(火) 第89回 理事会
- 5月11日(土) 第15回 通常総会
- 5月13日(月) 茶話会 (第91回)
- 5月26日(日) ベリー会 勉強会
- 5月26日(日) ワカモノフェスタ実行委員会
- 5月26日(日) チャイルドライン講演会「不登校」(子どもの気持ちと大人のかかわり) 講師: 奥地圭子さん
- 5月28日(火) 児童・生徒指導担当者等研修会
- 5月31日(金) つくって食べよう! (コーヒーゼリー)
- 6月1日(土) 川むしたんけん隊 行川・「見行地橋」けんぎょうちばし
- 6月10日(月) 茶話会 (第92回)
- 6月16日(日) ワカモノフェスタ実行委員会
- 6月30日(日) ベリー会 学習会
- 7月1日(月) 理事会 (第90回)
- 7月8日(月) 茶話会 (第93回)
- 7月8日(月) なんとなくのにわ・オープン勉強会 #1 (話題提供: 佐藤順さん、市民活動支援センター)



収穫を終えたじゃがいも畑: 今年は雨続きで適当な日が取れず、スタッフが収穫しました。また来年、お世話になります。



プランターのミニトマトはもうすぐ収穫できそうです。

さくらそう関連の勉強会など

- ・2019年度日光市相談支援専門員連絡会 4月24日(水) / 5月22日(水)
- ・2019年度県西圏域相談支援事業者等連絡会 7月12日(金)
- ・2019年度日光市障害者自立支援協議会 事例検討会議 4月11日(木) / 5月9日(木)

チャイルドラインとちぎ 公開講演会 不登校

～子どもの気持ちと大人のかかわり～

講師: 奥地圭子氏

2019年5月26日(日) 13:30~15:30

17年前、子どもが不登校の時に会った講師の奥地圭子さんが今もお元気で栃木まで講演に来てくださったことに感激しました。精力的に活動されていて、地元のフリースクールの立ち上げや居場所の開設を計画している人にもアドバイスをしてくださいました。場をつくるためにはいろんなひとに手伝ってもらふこと、子どもとの距離や保護者との関係も大切など、改めて納得のお話でした。(N)

お知らせ: NPO法人とちぎ教育ネットワークRe-Start記念講演会

子ども中心の学びの時代へ

～なぜ、教育機会確保法が必要なのか～

講師: 奥地圭子さん

NPO法人東京シュール理事長、東京シュール葛飾中学校理事長・校長

日時: 2019年(令和元年) 7月28日(日) 14時~16時

会場: 宇都宮大学5号館5B21教室(宇都宮市峰町350)

参加費: 500円

★お申込み・お問い合わせ: NPO法人とちぎ教育ネットワーク

アドレス: npoten2019@outlook.jp



子育て・親育ちの茶話会

場所: 子どもの居場所(日光市平ヶ崎)

日時: 毎月第2月曜日(午前10時~12時)

次回の予定はお問い合わせください。

参加費: 300円(お茶代)

同じ悩みを持つ親御さん同士、気持ちを許し合って、情報や悩みを分かち合いましょ。 「一人で悩まず、みんなで!」を合い言葉に。(Tel: 090-3227-7079)

なんにわ オープン勉強会 #1 7月8日実施

情報分野に関心をもつ仲間が月にいちど「子どもの居場所」に集まり、よもやま話に花を咲かせています。今回、会場を支援センターに移し、オープンな雰囲気やってみようということになりました。技術的な話ではなく、だれもが関心を持つ内容ということで、会員の佐藤さんにお話し、「死ぬ瞬間の5つの後悔」、「人間についての一考察: ルドルフ・シュタイナーの思想とは?」というふたつの話題を用意いただきました。宣伝用チラシを準備できたのが一週間前。まったくの宣伝不足の中、ロコミで9名が集まり、生老病死、人生を考える深刻な内容から教育論まで話題が展開しました。古くから「はなし」は雑談(ぞうだん)。そして日本で作られた漢字「噺」のとおり、「なにか新しいこと」。気楽に会話を楽しむ場をこれからも続けたいと思います。(T)



こんな本はいかが？ その 46:

ヨシタケシンスケさんの絵本

今回はヨシタケシンスケさんの絵本を紹介します。
ヨシタケさんの絵本はまず題名がおもしろい！！加えて、「大人って勝手だね」「子どもの考え方は、大人になると忘れてしまうものなんだな」と思い出させてくれるところが魅力！！

◎「それしか ないわけ ないでしょう」 白泉社 2018年
大人は「みらいはきっとこうなる」とか「だからこうするしかない」とか言うけど、たいていあたらないのよ。..そう、そう。そんなものですよ。大人は、子どもに対して 少しの選択肢しか与えないけど、実は選択肢はたくさんあるのです。おもしろい絵本です。

◎「おしっこ ちょっぴり もれたろう」 PHP研究所 2018年
ぼく、おしっこちょっぴりもれたろう。ぼくみたいなもれたろうが、世界にはいっぱいいるんじゃないかと探し回るのが...最後におじいちゃんが安心させてくれます！！

◎「なつみは なんにでも なれる」 PHP研究所 2016年
なつみが何かのまねをして、お母さんがそれを当てるゲームを思いついた。なつみはいろんなまねをするけど、お母さんはなかなか当てられない...

◎「つままない つままない」 白泉社 2017年
なんだかつままないって思ったとき、つままないってなんだろうと考えた。つままないことをいっぱい考えていたら、おもしろくなった！...

◎「子ども・大人」考える絵本6
絵/ヨシタケシンスケ 文/野上暁+ひこ・田中 大月書店 2009年
野上暁さんとひこ・田中さんが子どもの言い分、大人の言い分を分析してみた...いろんな考えがたくさん出てきて...この絵本は、考えるための道具として使ってほしいということです。(白井)

私たちの活動目的：

日光市とその周辺地区に居住する子どもおよび青少年等に対して、学習や自立のための支援活動と地域への啓発活動を行い、社会に出た後も継続性のある、支援と学びの場を作り出します。

私たちの事業：

- ① 子どもたちの自主性および自立性を尊重した居場所の提供および学びの場の運営
- ② 子どもたち一人ひとりに対応した、新たなカリキュラムや学習内容の開発
- ③ インターネットなどのIT環境を活用した学びの支援
- ④ 教育についての相談や情報提供活動
- ⑤ 学校外で育つ青少年の自立に関する相談および就労を支援する活動
- ⑥ 自然環境の中での学びを作り出し、自然環境保全の大切さを啓発する活動
- ⑦ 障がいの理解および啓発に関する企画運営事業
- ⑧ 第二種社会福祉事業の相談支援事業経営

会員について

正会員：57
賛助会員：19
団体会員：4
入会金なし
年会費(一口)
正会員 3,000円
賛助会員
個人 5,000円
団体 10,000円



私たちの活動は会費と寄付金でまかなわれています。会員継続、応援をよろしくお願いいたします。会員は新たな事業の提案、会の事業の運営などに直接かかわることができます。みなさまの積極的な参加をお願いします。

なんとなくのへや

6月下旬になると毎年思い出す数字があります。6月28日は完全数の日。約数の和が自分自身に等しくなる、つまり、 $6 (=1+2+3)$ 、 $28 (=1+2+4+7+14)$ というふたつの完全数でこの日付ができていたことがその理由です。ネットの百科事典、「ウィキペディア (Wikipedia)」で「完全数」を検索すると、はるか古代ギリシャの数学者ユークリッドは、すでに6、28、496、8128が完全数であることを知っていたなどの詳しい解説があります■1950年頃までに人類が見つけた完全数は12個。それ以降は10年に4~9個のペースで発見され、現在知られている完全数は51個だそうです。昨年新たに付け加えられた完全数は、49,724,095桁というものすごく大きな数です。膨大な計算を積み重ねて結果を求めるといって、電子計算機の超高速化が可能にした研究のひとつなのかもしれません。「すごい計算なんだろうなあ」と思いつつ、印刷したら何万ページにもなる巨大な整数の羅列を見て、それが本当に「完全数」なのかという確認はできそうにもないとも思います。電卓でチェックできるほどの数ならともかく、「計算機が何かを発見しました」と結果を見せられても、その結論に至るすべての過程を追いかけての検証作業はますます難しくなっている。近頃とても気になることのひとつです。しかしこれは今に始まったことではなく、科学の発達が生んだ「分業」と考えれば仕方のないことなのかもしれません■いっぽうで完全数については「完全数は無数にあるのか」、「奇数の完全数はあるのか」など未解決問題がいくつもあります。とくに無限を相手にするような証明は、計算量を増やしただけでは解けそうにない難問が山積しているらしい。人間に残された未踏査領域がここにあるのかもしれません。(T)